



人工関節センター

Joint Reconstruction Center

2013年8月発行
第2号

News

地方独立行政法人



りんくう総合医療センター

RINKU GENERAL MEDICAL CENTER

〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地23号
TEL 072-469-3111 (代表) / FAX 072-469-7929

さらに安全・安心なロボット 人工関節手術とは・・・。



da Vinci®

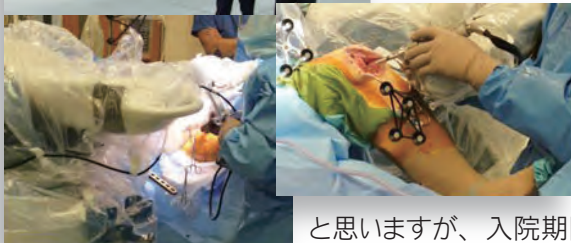
近年、皆さんが耳にした医療の言葉の中に、『ロボット手術』という言葉聞いたことがあるかと思います。ロボット手術(支援用手術ロボット)が日本で承認されている代表的なものとして、ダ・ヴィンチことダ・ヴィンチ外科手術システム(da Vinci Surgical System)があります。このシステムは、泌尿器科・婦人科領域で使用されており、臓器が立体視された画像(3D画像)を患者さんの横で医師が見ながら操作し手術を行うものです。従来の内視鏡を使用した手術とは異なります。現在、このシステムは前立腺がん・子宮がんなどの手術で使用されており、より低侵襲で行える最先端医療の1つとして広まってきています。

整形外科領域における人工関節支援用手術ロボットとは・・・。

人工関節支援用ロボットは、コンピューター支援手術(CAS; computer assisted surgery)の範疇に入ります。ナビゲーション手術・手術前3次元計画とともに、従来の手術よりも、更に低侵襲で正確に安全に手術を行うことができるシステムです。ナビゲーション手術・手術前3次元計画に関しては、全国の病院で少しずつ広がってきている現状ですが、人工関節支援用ロボットに関しては、承認など様々な問題がありほとんど使用されていない現状です。ただ諸外国(アメリカ、ヨーロッパ、イスラエル、韓国など)では、ナビゲーション手術・手術前3次元計画とともに徐々に広がってきている現状です。



今回、藪野と澤田は、7月17日～23日、AANA(アメリカ関節鏡協会)主催の股関節鏡手術マスターコースに参加するためシカゴを訪れた際に、人工関節支援用手術ロボット(MAKO)を使用し、人工股関節・人工膝関節(単顆)手術をされているAdventist Hinsdale HospitalのM.C. Durkin先生を訪ね、手術見学に行ってきました。



Hinsdaleはシカゴから車で40-50分の高級住宅街の中にあり、周囲の環境がとても良いところでした。このHinsdale Hospitalはprivate hospitalであり、クリニック診察している患者さんを主に手術するという形態でした。アメリカの保険システムも関係するか

と思いますが、入院期間は数日と短く、日本の数週間とは異なりとても驚きました。また手術件数・時間に関しても、朝7時から夕方5時まで人工関節手術を7件といったスピードで行いながらも正確な精度でされており感銘を受けました。

日本では見られない人工関節支援用ロボットによる人工関節手術をたくさん見学し、今後につながる良い機会であったと思います。また今後、外科医の能力を高めるシステムとしてダ・ヴィンチのように普及していく可能性があると感じました。今後、さらなる可能性を求め、人工関節支援ロボットによる治療を提供していきたいと考えています。

当センターでは、平成24年4月から人工関節手術においてナビゲーション手術・手術前3次元計画を導入し、従来よりも低侵襲で正確・安全な手術を行っています。